



チャンピオンシップ上位を走る Vantage、 ワトキンス・グレン 6 時間レースで表彰台獲得

- IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権初参戦の Car Blanche、Vantage で見事な表彰台デビュー
- ワークスドライバーのヴァランタン・アス・クロー、AMR ドライバー・アカデミーのマリウス・フォサル、トレントン・エステップが、ワトキンス・グレンにて GTD クラス 3 位
- The Heart of Racing (THOR) はザカリー・ロビションがフロントローを獲得、混沌としたレースの中で反撃を展開しトップ 5 入りを果たす
- ドゥドゥ・バリチェロと THOR、ワトキンス・グレン 6 時間でもドライバーとチームの GTD クラス首位を維持
- アストンマーティン、IMSA シーズンが折り返し点を迎える中、GTD のマニファクチャラーズ・チャンピオンシップ首位に



2026 年 6 月 29 日、ワトキンス・グレン：

アストンマーティンの最も成功を収めているレーシングカー Vantage が、米国ニューヨーク州の伝統あるワトキンス・グレン・インターナショナルで日曜日に開催された波乱のワトキンス・グレン 6 時間レースで、IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権出場 5 戦目にして 5 度目の GTD クラス表彰台を獲得しました。

今回初参戦となる、YRB Racing が運営する Car Blanche チームが、アストンマーティンのワークスドライバーであるヴァランタン・アス・クロー（フランス）、IMSA 初出場のアストンマーティン・レーシング・ドライバー・アカデミー候補生のマリウス・フォサール（フランス）、今回初めて Vantage GT3 でレースに出場したトレントン・エステップ（米国）というドライバー布陣で圧巻のパフォーマンスを見せ、GTD クラス 3 位フィニッシュを決めました。

IMSA の折り返し点で現在 GTD カテゴリーの首位を走る Vantage GT3 は、ウルトラ・ラグジュアリー・ハイパフォーマンス・ブランドであるアストンマーティンのロードカー、Vantage と同じメカニカルアーキテクチャを採用し、アストンマーティンの実績ある接合アルミシャシーを中心に組み立てられ、強力な 4.0 リッターV8 ツインターボエンジンを搭載しています。Car Blanche はこの優れた技術を活用し、グリッド 18 番手から見事な走りでも上位に上っていき、残すところ 10 分でアス・クローが 3 位に入り、チームのシリーズデビュー戦にして初の表彰台獲得を果たしました。

Vantage は、2022 年 GTD Pro と GTD のダブル優勝、2025 年 GTD 優勝と、近年好成績を挙げているワトキンス・グレンの舞台でも成功を収めることになりました。Car Blanche は、2026 年に IMSA の表彰台を獲得した 3 つ目の AMR パートナーチームになります。今シーズン、The Heart of Racing (THOR) がロレックス・デイトナ 24 時間、セブリング 12 時間、ラグナ・セカと既に 3 つの表彰台を記録しているほか、Magnus Racing も 2 月のロレックス 24 時間で僅差の 2 位でフィニッシュしています。

今回はシリーズチャンピオン経験者のザカリー・ロビション（カナダ）が GTD のポールポジションからスタートしました。ロビションとドウドウ・バリチェロ（ブラジル）によって 27 号車 Vantage は 2 時間目にはリードを取り、全体の半分を越える地点までそのポジションを維持していました。不運にもいくつかのフルコース・コーションが導入されたことが響いて順位を落としましたが、アストンマーティンのワークスドライバーであるトム・ギャンプル（英国）がレース後半 3 分の 1 で巻き返し、5 位を獲得しました。

これにより、バリチェロがドライバーズ・タイトル、THOR がチームのポイント・ランキングの首位を維持し、さらにはシリーズ折り返し点でアストンマーティンがマニファクチャラーズ・チャンピオンシップの先頭に躍り出ることになりました。

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者、アダム・カーターは次のように述べています。「ワトキンス・グレンは、これまでも Vantage が好調なパフォーマンスを見せるトラックでしたが、今週末も同じでした。アストンマーティンの表彰台記録が GTD5 戦 5 勝に延びたこと、しかもそれが 3 つのパートナーチームによって記録されていることを、とても喜ばしく

思います。YRB Racing は Car Blanche のデビュー戦で 3 位フィニッシュという素晴らしい仕事を成し遂げました。IMSA における実績の好調な滑り出しにお祝いを申し上げます。The Heart of Racing チームとドウドウ・バリチェロがドライバーとチームでそれぞれ首位を保ったことに加え、YRB Racing の成績によってアストンマーティンはマニファクチャラーズ・チャンピオンシップの 1 位になりました。これからのシーズン後半はその地位の強化に努めていかなくてはなりません」

Vantage は、大西洋の反対側、ベルギーの伝説的なスパ・フランコルシャン・サーキットで開催された世界最大の GT3 レース、クラウドストライク・スパ 24 時間レース（2026 年 GT ワールドチャレンジ・ヨーロッパ第 3 戦）にも参戦しています。

2 台の Vantage が、混沌とした激戦を完走しました。natural elements by Walkenhorst Motorsport の 34 号車は、1 周目で発生した複数台が絡む事故に巻き込まれ、損傷とパンクに見舞われてトップ 60 から脱落しましたが、2024 年 AMR ドライバー・アカデミー勝者のジェイミー・デイ（英国）とアストンマーティンのワークスドライバーであるエンリケ・シャヴェス（ポルトガル）とクリスチャン・クログネス（ノルウェー）が勇猛果敢に反撃を続け、総合 7 位でフィニッシュしました。それだけでなく、最終盤ではいくつかのピットサイクルの中で一時的に先頭を走ることもありました。スパ 24 時間初参戦の Ecurie Ecosse Blackthorn は、ジャコモ・ペトロベッリ（イタリア）、ローカン・ハナフィン（英国）、2022 年 AMR ドライバー・アカデミー勝者ロマン・ルルー（フランス）がブロンズ・カップに出場し、6 位に入りました。

一時は GT ワールドチャレンジ・ヨーロッパ・エンデュランス・カップのポイント首位であった Comtoy Racing は、完走はならなかったもののドライバーズ・チャンピオンシップ 2 位、チームのランキングでは 3 位を維持しました。2024 年スパ・フランコルシャン 24 時間レース優勝のマッティア・ドウルディ（イタリア）、マルコ・ソーレンセン（デンマーク）、ニッキ・ティーム（デンマーク）が駆る 007 号車 Vantage は、29 番手からのスタートから、混迷を極める夜間においてトップ 10 まで台頭したものの、ティームが夜明けに 5 番手を走っているとき、リタイヤを余儀なくされました。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-JqMW3QmQ6k931Ag2>

アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって 1913 年に設立されたアストンマーティンは、

スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、DBX707に加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは「ブレンドドライブトレインアプローチ」による内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上の国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pjbc.co.jp